



劔 神 社

織田信長公ゆかりの社





ごさいじん
御祭神

すさのおのおおかみ
素盞鳴大神

けひのおおかみ
氣比大神

おしくまのみこ
忍熊王



劔神社本殿 (県指定文化財)

入母屋造・柿葺

千鳥破風が主棟と同じ高さで唐破風をもつ

寛永4年(1627)

ゆいしよ
ご由緒

悠久の昔、当社の遙か北に仰ぐ座ヶ岳の峰に素盞鳴大神を祀り劔大神と称えられました。

第十四代仲哀天皇の第二皇子忍熊王は、劔大神の御神威を頂き当地方を無事治めることができたことを謝び、現在の地に社を建て、劔大明神と仰いできたことを社記は伝えています。

奈良時代より祈願の霊場として朝廷をはじめ多くの人々から厚い信仰を受け、現在所蔵する国宝の梵鐘は第四十九代光仁天皇の御奉納といわれています。

武家の時代には平重盛公・朝倉氏を始め多くの武将の崇敬を集め、特に織田信長公は氏神と崇めて、格別の信仰をもって神領を寄進し当社を保護しました。

江戸時代の末には伏見宮家の御祈願所と定められ、拝殿の御寄進をいただき厚い尊崇をうけて今日に至っています。越前国二の宮として一の宮の氣比神宮と共に、県民はもとより県外の方々の信仰も厚い神社です。

終末代不可有相違之状

当社の鎮座地である越前町織田は、織田信長公の祖先の地です。織田氏は織田荘の荘官として、また越前国二の宮劔神社の神官として代々劔大神に仕えてきた由緒ある家柄でした。

応永年間(一三九四〜一四二七)に神官の子に「常昌」という立派な人物がいましたが、時の越前守護斯波氏にその才能を見出され、家臣として取り立てられて、尾張国に派遣されました。苗字は故郷の地名をとって織田を名乗るようになりました。



織田信長像
(北村西望作)

TURUGI

劔神社と織田信長公

NOBUNAGA ODA



信長安堵状

織田氏は尾張で次第に勢力を伸ばし、守護代を勤めるまでになり、信長公の時には尾張一円を掌握し、更に「天下布武」の旗印のもと日本全国に雄飛するまでになりました。

信長公は戦国の乱世にあっても、劔神社を氏神として深く尊崇し、武運を祈ると共に、多くの神領を寄進し社殿を造立するなど、劔神社の保護と領内の治安に尽くしています。

天正十年(一五八二)、信長公は京・本能寺で壮絶な最期を遂げ、天下統一の夢は消えましたが、織田の人々は信長公の功績と威徳を偲び、御霊を境内の小松建勲神社に合祀しました。

織田氏の家紋が「織田木瓜紋」(五つ木瓜紋)で、当社の神紋と同じ紋章であるのは、劔神社と織田家の深いつながりを示しています。



御祭神

素盞鳴大神

氣比大神

忍熊王



劔神社本殿 (県指定文化財)

入母屋造・柿葺
千鳥破風が主棟と同じ高さで唐破風をもつ

寛永4年(1627)

ご由緒

悠久の昔、当社の遙か北に仰ぐ座ヶ岳くらがだけの峰に素盞鳴大神を祀り劔大神と称えられました。

第十四代仲哀天皇の第二皇子忍熊王は、劔大神の御神威を頂き当地方を無事治めることができたことを謝び、現在の地に社を建て、劔大明神と仰いできたことを社記は伝えていきます。

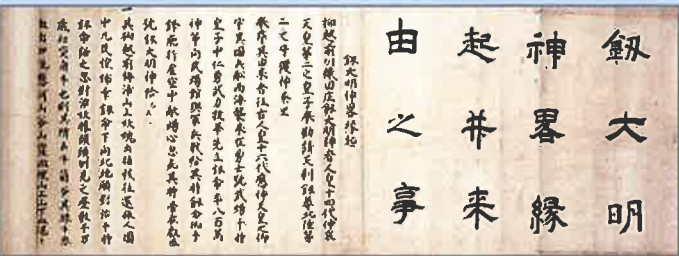
奈良時代より祈願の霊場として朝廷をはじめ多くの人々から厚い信仰を受け、現在所蔵する国宝の梵鐘は第四十九代光仁天皇の御奉納といわれています。

武家の時代には平重盛公・朝倉氏を始め多くの武将の崇敬を集め、特に織田信長公は氏神と崇めて、格別の信仰をもって神領を寄進し当社を保護しました。

江戸時代の末には伏見宮家の御祈願所と定められ、拜殿の御寄進をいただき厚い尊崇をうけて今日に至っています。越前国二の宮として一の宮の氣比神宮と共に、県民はもとより県外の方々の信仰も厚い神社です。



忍熊王の夢枕に立たれる素盞鳴大神



●劔大明神略縁起 嘉暦3年(1328) 劔神社にまつわる神話などが述べられている



●柴田勝家諸役免許状 天正3年(1575) 柴田勝家が劔神社(織田寺)の門前に対し税の負担を免除したものの「当社の儀は殿様御氏神」と書かれている



劔神社古絵図復元模型 (越前町織田文化歴史館蔵)

室町時代後期の劔神社の様子
境内の北方の劔神社本社を中心として南方には神宮寺(織田寺)関係の建物がある
神仏習合の様子を知ることができる

伝統芸能

秋の例祭に奉納される



明神ばやし
県民俗無形文化財



劔神社敬神団の獅子舞

宝物 (織田文化歴史館寄託)

梵鐘 国宝

奈良時代末・神護景雲四年(七七〇)
光仁天皇の御奉納と伝えられ、国内
在銘梵鐘で三番目に古い物である



釈迦八相涅槃図

鎌倉時代中期 絹本着
色 現在奈良国立博物
館に寄託

古文書

朝倉五代・織田信長
公・柴田勝家・徳川家
康等の貴重な資料多数



銘(陽刻)
劔御子寺鐘
神護景雲四
年九月十一日

年中の祭典と行事

- 一月一日 歳旦祭、初詣
- 一月一日 年頭祈願
- 一月三日 元始祭
- 二月三日 節分厄除大祭
- 二月十一日 紀元祭、大左義長
- 二月二十三日 天長祭
- 四月二十九日 春季例大祭
- 六月三十日 夏越大祓、茅ノ輪くくり
- 七月十五日 織田神社八幡祭
(大願成就祈願)
- 八月十五・十六日 夏祭、忠魂社みたま祭
- 八月十七日 鎮風祭
- 中秋 観月祭
- 十月九・十日 秋季例大祭
- 十月末〜十二月中 七五三詣
- 十二月一日 新嘗祭(秋上祭)

境内摂末社

- 織田神社 (県指定文化財)
- 祭神 保食大神
- 仲哀天皇・応神天皇
- 奇稲田姫神社
- 祭神 奇稲田姫命
- 薬師神社
- 祭神 少彦名命
- 小松建勲神社
- 祭神 平重盛公
- 織田信長公
- 水木稲荷神社
- 祭神 倉稲魂神

交通のご案内



- 車でお越しの方 福井ICより約40分 武生・鯖江ICより約20分
- JRでお越しの方 北陸本線武生駅で下車、駅前より越前海岸方面(織田経由) 行きバスにご乗車下さい【約35分】

越前二の宮 剣神社 f

〒916-0215 福井県丹生郡越前町織田金栄山
 TEL.0778-36-0404 FAX.0778-36-0902
<http://tsurugi-jinja.jp>